

2023年度 第1回兵庫県審判アカデミー・第1回審判トレセン合同研修会 報告

日時	2023年4月8日(土) 8:00~13:00
場所	HFA明石グラウンド
参加者	谷淳平、小山龍之介、高木陽介、瀬田順矢、北條結羽、黒田隆孔、小林顯太 西田拓駿
スタッフ	三木章嗣、浦元雄一郎
インストラクター	内橋克博、井上克己、中村正光、松本実、梶山勝弘(報告)
内容	実技

報告

三木氏から開講式で2023年度の目的「強化部・育成部・各都市協会にて選考した審判員の上級審判員を目指すにあたって必要なスキルを磨く。サッカー観、審判観など審判員として必要な資質の向上を目指す。兵庫のサッカーがより魅力的なものになるように、技術と知識向上を狙う」についての説明があった。参加者全員が、主審、副審を行いインストラクターからのアドバイスを受けた。肌寒い中であったが、各審判員の意気込みは寒さに負けていなかった。実践では、DOGSOのシーンもあり、映像を使用して判断が正しかったのか、なぜ判断が間違ったのかを確認した。





<まとめ>

厚生労働省が、令和5年3月13日以降「マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本」の方針を発表しました。試合観戦も一部では声出し可能となり緩和傾向となっていますが、アカデミー・トレセンでは引き続き状況に応じた感染対策を行い開催したいと考えております。また、スタッフ・インストラクターのミーティングで各審判員の課題、長所を確認し、長所はさらに良くする、課題は解決するためのきっかけをどのように伝えていくかを議論した。議論の中では、失敗を恐れて「自分らしさがない」との意見もあった。

2023 年度 第 2 回兵庫県審判トレセン合同研修会 報告

日 時	2023 年 4 月 15 日 (土) 10 : 00 ~ 17 : 00
場 所	三木総合防災公園 第 2 陸上競技場
参加者	高木陽介、小林顯太
スタッフ	浦元雄一郎
インストラクター	佐野茂
内 容	実技

報 告

<振り返り>

プリンスリーグ関西 2 部の試合を 2 人に主審を担当してもらった。
 2 週間後に控えた審査対象試合を前に課題や修正点が多く出た試合になった。
 事象を正確に見極めるため何をしなければならぬのか審査に向けて大きな課題になった。





<まとめ>

佐野インストラクターからこの日試合で出た課題を修正するためにどうすべきかを審判員に考えさせる振り返りを行って頂いた。

また、この日両試合に第4の審判員に入っていた元関西カテゴリー審判員の森氏からもご自身の経験や今日あった事象から主審としてどうすれば良かったか審判員たちと一緒に考える時間があった。

この経験を活かして2週間後に良いパフォーマンスを発揮してもらいたい。

2023年度 第3回兵庫県審判トレセン 報告

日時	2023年7月9日(日) 13:00~19:00
場所	いぶきの森球技場
参加者	小林顯太、高木陽介
スタッフ	浦元雄一郎
インストラクター	内橋克博、中村正光
内容	試合分析、振り返り

報告

2名とも前期の審査対象試合を4試合終了したが、審査結果に関わらずに次のステップに進むために社会人トーナメント準決勝の主審を担当した。2人とも2級になってから2年目だがあまり社会人の主審経験がなく、途中大雨が2試合とも降る試合になったが非常に良い経験となった。



第1試合 主審 小林氏



第2試合 高木氏



<試合分析、振り返り>

試合後に小林氏には内橋インストラクター、高木氏には中村インストラクターから映像を使用した試合分析、振り返りをして頂いた。小林氏の試合ではDOGSOの見極め2シーンをどうすれば正しく判断することができたのか。高木氏の試合ではコンタクトを正しく見極めるためにどこにいるべきか、何を考えるのか。また主審としてどういった態度が競技者、チーム、運営から信頼を得ることができるかという点を共有した。

また最後にこの試合をただの経験に終わらすだけでなく、成長に繋げてほしいという話をして終わった。今後の2人の活躍、成長に期待したい。

